

研究のご協力をお願い

札幌麻生脳神経外科では下記の臨床研究を行います。皆様におかれましては本研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますよう、お願いいたします。

なお、本研究への参加を希望されない場合、または本研究に関するお問い合わせは、お手数をかけますが、当院連絡先までご連絡ください。

1. 研究名： 当院における末梢静脈カテーテル関連の血流感染症に関する研究

2. 研究の対象

2019 年 4 月から 2025 年 3 月までに、当院で入院中に血液培養が陽性で、臨床経過から末梢静脈カテーテルによる血流感染症と判断された症例

3. 研究期間

2025 年 2 月（倫理委員会承認後）～2026 年 3 月 31 日

4. 研究目的

末梢静脈カテーテルによる経静脈栄養は、経口摂取が困難な低栄養の症例にて汎用されるが、一方でアミノ酸を含有する末梢静脈栄養の治療患者では、静脈炎を契機に血流感染症が発症する症例も散見される。中心静脈留置カテーテルに由来した血流感染症と比較して、末梢静脈カテーテルによる菌血症での予後や、分離菌に着目した研究は乏しい。末梢静脈カテーテルによる血流感染症での治療経過に関する臨床データを蓄積することは、本疾患への医療者の理解を深め、感染対策の考案において重要である。

5. 研究方法

本研究は、当院の臨床データを用いた後ろ向き調査研究である。患者情報に関しては、電子カルテの診療記録に基づき医療者にて抽出する

6. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、末梢静脈栄養の開始日、治療に用いた抗菌薬の種類、血液培養から検出された菌種、培養提出から 30 日以内の死亡の有無など

7. 外部への試料・情報の提供

研究データは全て匿名化し、患者 ID と研究の振り分け番号との対応表は、研究責任者にて保管・管理します。データは、パスワードが要求される USB にて保管します

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、医療情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。既に治療が終了した患者を対象とした研究ですので、その場合でも不利益が生じることはありません。

当院連絡先：

札幌麻生脳神経外科病院 脳神経外科 薬局 平野龍一

住所 札幌市東区北 22 条東 1 丁目 1-40

電話 011-731-2321

E-mail; r.hirano1115@gmail.com